

平成 30 年度 第 3 回理事会 議事録

- 日時：平成 30 年 9 月 29 日 13：30～18：00
- 場所：平成医療短期大学
- 出席者：須貝会長、中根理事、石川理事、山田理事、木下理事、吉田理事、田中理事、鈴木理事、山河理事、廣瀬_武理事、野尻理事、加藤_清理事、柴監事、森島代理（首藤理事代理）

会長（須貝）

■介護ロボットのニーズ・シーズ連携強調協議会

1) キックオフ会議

- ・日時：平成 30 年 6 月 17 日
- ・場所：TKP 東京日本橋カナルセンター
- ・内容：事業概要説明

2) 岐阜県介護ロボットのニーズ・シーズ連携強調協議会

<第 1 回>

- ・日時：平成 30 年 7 月 22 日
- ・場所：じゅうろくプラザ
- ・内容：構成員紹介、事業の概要説明
介護現場の概要説明
介護業務上の課題の調査方法

<第 2 回>

- ・日時：平成 30 年 9 月 24 日
- ・場所：岐阜市文化センター
- ・内容：推進委員会報告
介護業務上の課題の調査結果報告
介護ロボット等の導入による課題解決の評価法設定
課題解決のための新規ロボット等に必要要素技術の抽出

■岐阜県老健協会会長と面談(7/6)

1) 老健協会からの依頼→2021 年岐阜県老健協会の全国大会がある。老健協会の組織強化を図るためにリハビリは重要であり、リハビリ部会から委員を 2 名推薦したい。（超加算型の老健から）

2) 県 OT 士会からの依頼→「生活行為向上リハ加算」の普及を図りたい（通所リハ）。共同で研修会の開催を。

■東海北陸リーダー養成研修（第 3 回）実行委員会

- ・日時：平成 30 年 8 月 22 日
 - ・場所：大垣市民病院
 - ・研修会日時：12 月 1・2 日
 - ・テーマ：「次世代リーダー研修会」
「ワンペーパー資料作成」
 - ・会場：大垣徳洲会病院
 - ・今回より参加費は各県一律で 25,000 円
 - ・現時点で石川県のみ返答あり。
- #### ■岐阜県リハビリテーション協議会
- ・日時：平成 30 年 8 月 31 日
 - ・場所：羽島市民病院
 - ・内容：①法人化の進捗状況
②高校生一日体験報告
③災害派遣等整備と派遣状況
④訪問リハ等地域包括ケア推進
⑤こども福祉機器展について

■学童保育との連携

1) 大阪府視察

- ・日時：平成 30 年 7 月 28 日
- ・場所：大阪市のとある児童クラブ
- ・内容：作業療法士による講演会参加「発達障害の捉え方・関わり方」

2) 学童保育×作業療法士連携情報交換会

- ・日時：平成 30 年 9 月 9 日
- ・場所：TKP 名駅東口カフェインセンター
- ・内容：①倉敷市議会議員による倉敷市の施策
②岡山県における作業療法士連携
③沖縄県南風町による施策（学校支援を中心に）
④宮城県における作業療法士連携

※行政との連携が重要、発達障害領域の OT のみに関わるのではなく、全ての領域の OT が関わるべき⇒人材育成の必要性

■ぎふ清流レクリエーションフェスティバル総合開会式

- ・日時：平成 30 年 9 月 29 日
- ・場所：岐阜メモリアルセンター

■日本作業療法士協会（47 委員会）

- ・日時：平成 30 年 10 月 7 日
- ・場所：TKP 東京駅八重洲カフェインセンター
- ・次回：平成 31 年 2 月 2・3 日

■RUN 伴+（PLUS）みずほ（認知症普及推進の活動）

<事前説明会>

- ・日時：平成 30 年 9 月 16 日
- ・当会は「岐阜県作業療法士会チーム」として参加
- ・参加者：須貝会長、岐保短の学生

■災害リハ

今年度より四師会の参加として、廣渡氏に加え青木医師が出席→四師会には青木医師の参加について連絡済

- ・研修：JIMTEF 等の研修会への参加、研修費支出について

・今後の課題：災害拠点病院より順次人材育成を目指す

・派遣と連携：JRAT として連携すべき団体を模索（地域、DCAT 等）、災害派遣セラピスト（仮）について災害担当者、県協議会の承認得られた。

・資金：岐阜県から支援を獲得していく

■JRAT 派遣報告

- ・派遣：森 PT、廣渡 OT の 2 名に要請
- ・活動日時：平成 30 年 7 月 13～15 日
- ・宿泊場所：アパホテル倉敷駅前
- ・派遣先：活動本部（倉敷リハセンター内）
- ・業務：JRAT 活動本部のロジ業務（活動場所の視察含む）
- ・費用：ボランティア保険は岡山県で加入。

広報部会員向け（田中）

■次号（ごったに 91 号 H30.10 発送）

- ・発送日：平成 30 年 10 月 24 日
- ・内容：巻頭言、新入会員紹介、活動報告、広報部取材ページ、臨床実習指導者研修について
- ・掲載締め切り：平成 30 年 9 月 30 日

■次々号

- ・発送日：平成 31 年 1 月下旬
- ・内容：巻頭言、活動報告、広報部取材ページ、特集記事（未定）

■提案事項、検討事項

1) 来年度の発行

県学会開催月の変更（5月→6月）に伴い、広報誌の発行月変更（4、7、10、1月→5、8、11、2月）この発行月で実施
2) H31. 1発行の次は5月になるが問題ないか？→5月発送で問題ない。

事業部（山田）

■学生ボランティア保険について

・保険料は士会が負担？

登録の事務手続きが煩雑、学校側で保険に入る？（追々検討）学生には交通費の支給ではなく、お弁当を配布している。

社会局（君垣）

■認知症初期集中支援研修会

日時：平成30年9月30日

（台風のため中止、代替日検討）

■認知症アップデート研修会

・日時：平成30年7月22日

・場所：長良川国際会議場

・講師：名賀石氏（認知症認定看護師）

■地域包括ケア・介護予防推進リーダー導入研修会

1) 介護予防推進リーダー研修会

平成30年8月19日（大垣市）

平成30年10月20日（高山市）

2) 地域包括ケア推進リーダー研修会

平成30年8月18日（大垣市）

平成30年10月20日（高山市）

3) 地域包括推進リーダーアドバンス研修

平成30年12月1日（岐阜市）

4) 介護予防推進リーダーアドバンス研修

平成30年12月2日（岐阜市）

■地域ケア会議について

1) 大垣市

・日時：毎月2回の開催

・参加者：藤井氏、吉田氏、成田氏
君垣氏（いずれも士会員）

2) 岐南町

日時：平成30年5月18日、6月15日
（8月～12月中に5回程度）

参加者：藤井氏（士会員）

3) 飛騨市

・日時：平成30年8月2日、10月12日、
12月、2月は未定

・参加者：伊藤氏

■地域包括ケアシステム推進委員会

・日時：平成30年7月21～22日

・場所：TKP 秋葉原カンファレンスセンター

■認知症の人の生活支援推進委員会

・日時：平成30年10月27～28日

・場所：TKP 秋葉原カンファレンスセンター

・参加者：長谷川氏、君垣氏

（いずれも士会員）

■ぎふささえあいフェスタ2018

・日時：平成30年9月21～22日

・場所：みんなの森ぎふメディアコスモス

・参加者：作業療法士11名

■市町村訪問

・訪問日：平成30年8月8日

・場所：各務原市役所

・内容

①認知症初期集中支援の後援申請

②各務原市の認知症初期集中支援の動向

③介護予防事業の進展確認

機関紙編集部（石川）

■投稿数：0件（現時点では3演題決定）

■演題確保の対応

演題数が少ないため、発表された病院、士会員に直接促している。投稿に対する敷居が高い？士会員に対してアンケートを実施してはどうか？（回収率は不安だが…）郵送でのアンケートは費用がかさむ為、web上でのアンケートの方が現実的。

■提案

①新人向けに研究法、研究発表の仕方を伝える機会を作る。

②学会誌の書式を統一し、機関誌と連携をはかる。

現職者研修部（森島）

■活動報告

1) 第1回現職者共通研修

・日時：平成30年6月17日

・場所：近石病院

・内容

①作業療法生涯教育概論（参加46名）

②作業療法の可能性（参加49名）

③職業倫理（参加46名）

2) 第1回現職者選択研修

・日時：平成30年8月26日

・場所：近石病院

・内容：事例報告（参加43名）

■今後の活動

1) 第2回現職者共通研修

・日時：平成31年12月16日

・場所：近石病院

・内容：保健・医療・福祉と地域支援
事例検討・事例報告

②第2回現職者選択研修

日時：平成31年2月ごろ

場所：近石病院

内容：身体障害領域

■提案

臨床実習指導者受講要件に合わせて、現職者研修部で「後輩育成」と「職業倫理」のコマを優先的に実施してはどうか？

また、会場が岐阜市に集中しやすく、飛騨圏域の士会員の参加が難しい。会場についても要検討。

地方局（廣瀬_武）

■西濃

1) 新人歓迎会開催

参加者12名

2) 西濃地区勉強会

・日時：平成30年9月14日

・場所：大垣徳洲会病院

・内容

地方局西濃圏域の取り組みについて

ミニレクチャー(Pusher現象のおさらい)、
症例検討

・参加者：22名（内学生1名）

■アンケート報告：

・経験年数1～5年（9名）

評価・治療89%

症例44%

協会からの情報0%

・経験年数5～10年（6名）

評価・治療83%

症例60%

協会からの情報0%

- ・経験年数 11 年目以上（3 名）

評価・治療 100%

症例 67%

協会からの情報 100%

地方局飛騨（野尻）

■活動報告

1) 第 1 回飛騨地区 OT 勉強会

- ・日時：平成 30 年 7 月 20 日
- ・場所：久美愛厚生病院
- ・内容（須貝会長）
「日本の社会情勢と協会県士会の取り組み」
- ・参加者：15 名（8 施設）

■今後の予定

3 か月に 1 回程度で定期的な勉強会の開催が理想。学会準備と重なるため、そちらを優先的に実施。

地方局東農（鈴木）

■活動報告

- ・日時：平成 30 年 8 月 30 日
- ・内容
「日本の社会情勢と協会・県士会の取り組み」（須貝会長）
- ・参加者数：25 名

第 23 回岐阜 OT 県学会（野尻）

- ・日時：平成 31 年 6 月 16 日
- ・会場：高山市民文化会館
- ・テーマ
「作業療法士、さまざまな困難に立ち向かえ！」

・講師

①教育講座 村山幸照氏（講演内容は検討中）

②市民公開講座 藤江昌智氏（児童精神科医）

③演題・抄録募集期間

平成 30 年 9 月 10 日～12 月 21 日

④後援・協賛について：10 月中に交渉

⑤実行委員会：平成 30 年 8 月 22 日

⑥場所：久美愛厚生病院

野尻氏、大下、長瀬氏、細江氏

加藤氏、中谷氏（県士会印）

■提案

①岐阜市開催や、東海北陸学会開催までに資金を貯蓄（岐阜市の会場にはコストがかかるため）

②抄録は 2 段組規定で（機関紙への掲載ができるように）

③前年度協賛していただいた企業や団体には引き続き協賛依頼する。

第 22 回岐阜 OT 県学会（廣渡）

■報告

1) 参加者：総数 388 名（士会員 208 名、他県士会員 5 名、他職種 4 名、学生 147 名、市民 19 名、その他 5 名）

2) 反省点

- ・事務局、士会総会運営部との連携不足
- ・会場開門時に受付が一時混乱
- ・予算が少ない

■提案

- 1) 1年前から動き出しではなく、会場を確保するためにも2年前からの動き出しでもいいのでは？
- 2) 初めて使用する会場は値段の予想がしづらいため、予算建てが難しい。(あらかじめ会場のストックをいつくか用意)
- 3) 教育講座は必要？(予算を考えて教育講座をなくしも良いのでは？→長野は教育講座なし)

■運転と作業療法委員(萩野)

■各県士会宛に立候補式のプラン提案あり
岐阜県士会としては、

- ・プラン1：施設見学
- ・プラン2：三者面談(警察署と教習所との面談セッティング)を立候補

■運転に関する勉強会・意見交換会

- ・日時
平成30年2月(86名参加)
平成30年8月(111名参加)
- ・参加者
医師、リハ3職種、ソーシャルワーカーなど多職種が参加
- ・運転支援中核施設：4施設
各務原リハビリテーション病院、木沢記念病院、岐阜県総合医療センター、和光会

■会員情報部・IT部・総務部(山河)

■IT部

- ・メール登録数：506名
(送信不能12名、未登録54名)
- ・メール配信：32件
(事務連絡4件、他団体研修会案内21件、岐阜県士会主催の研修会案内15件、県学会案内1件)

■会員情報部

- ・会員数：572名
- ・新規入会者：78名
- ・退会者：31名

■総務部

1) 来年度の新人オリエンテーション

- ・日時：平成31年5月26日
- ・会場候補：未定

2) 次回理事会

- ・日時候補：平成31年1月19日または26日
- ・場所：岐阜市文化センター
- ・終了後に新年会開催予定(岐阜駅周辺)

■部局事務システムの作成(提案)

- ・現在の課題
提出の失念、提出期限の遅れ、記載漏れや記載ミスが目立つ現状
- ・解決策として部局向けの事務管理システム(帳簿作成、部員登録、活動時間入力)を作成し、オンライン上で総務部、財務部と共有

- ・導入時期：10/1よりトライアル的に施行

■臨床実習指導者研修会

協会から5名の推薦依頼あり。生涯教育基礎研修終了者(県士会員)から5名選出(尾石氏、花井氏、林氏、宮園氏、山河氏)

■総務部PCの更新とデータ損失

- 新PCを購入済みであり、PC本体へのデータ保存からオンラインストレージへのデータ保存に切り替え済み
- オンライン保存だけでなく外部記憶媒体への保存も定期的に行う。